

第3回学校運営協議会レポート:10月後半



取手西小学校

(10月15日開催)

1 今年度の活動を振り返って (今後実施するものも含む)

(1) 創立10周年を記念して

- ①校舎廊下床洗浄②芸術鑑賞会(デジタル芸人のパフォーマンス)③航空写真撮影・クリアファイル制作④「にしっ子まつり」⑤白山西・稲小校長札掲示(校長室)⑥屋外用校旗新調⑧経費積み立ての検討

(2) 第1回学校評価アンケートの結果説明並びに課題点と対応策について協議

- ①根拠を示し意見を伝えることが苦手→「朝鑑賞」の活用、根拠を述べることを意識させる
②端末の活用について→スマサポ読み聞かせの活用→AIドリル活用で最適な学びの実現

2 地域学校協働活動の活性化について

(1) 西小スマイルサポーターの登録人数60名(昨年10月に募集開始～R7.10.15現在)

(2) 生涯学習課「とりでプラン」から→キャリア教育・起業家教育の推進

→アントレキッズの育成

(3) 西小スマイルサポーターのさらなる活性化に向けて熟議

- ①地域の方に講師として来てもらう
②実際に体験してみようワークショップ(総合的学習の時間で検討)
③地元の企業(起業)を知る(企業OBや起業家へ協力依頼)
④地域行事への参加 ⑤外国人の方への協力依頼
⑥アントレキッズの広報活動の推進



* アントレキッズとは：自ら課題を見つけ、課題解決に向けてチャレンジしたり、他者との協議により解決策を探求できる知識・能力・態度を身に付けるために活動する子供。



取手東小学校

(10月17日開催)

1 学校評価アンケートの報告

7月9日の第1回学校評価の結果報告を受けて、その課題解決に向けての提案や情報交換を行いました。

2 熟議(コーディネーターが会を進行しました)

(1) 学びのサポーター制度について

ボランティアを募集するためのチラシの提示がありました(写真参照)。このチラシには、募集内容をイメージし描いてくれた11名の児童の絵が掲載されています。保護者にはH&Sで周知済みですが、その他の配付方法について意見交換しました。



- ①回覧板の活用 ②公民館や店等に置いてもらう ③近くの中学校区の学校から配っていた
だく等の意見が出ました。③については各学校のCSの進捗状況が異なるので、現状を
確認しながらの継続審議となりました。できることから取り組む方向でまとめました。

(2) キャリア教育の充実に向けて

アントレキッズの育成のための取組について話し合いました。内容は、

- ①保護者や地域の皆さんにアンケートをとり、編集して掲示・配布・講演依頼などをする。
②発信に際しては、児童が興味をもつようにSNS画面風にしたり、動画にしたり工夫する。
③子供たちの前で話す人選は、地域の社長さんや有名な方はもちろんのこと、悩みながら
も立派(普通)に人生を重ねている方々の話も必要ではないかななどの意見もありました。

3 授業参観がありました。落ちついて学習していました。



戸頭小・中学校



(10月23日開催)

戸頭中学校を会場に第3回学校運営協議会を開催しました。

1 戸頭中学校「桔梗祭」参観

2 「桔梗祭」参観感想等の共有

- ・生徒がのびのびと活動していた。聞く姿勢がとてもよい。戸頭小の6年生を招いて見せるといい。
- ・昨年度から、合唱のレベルが上がっている。できたら1クラス2曲聴きたい。
- ・学習発表は、生徒からの発信が素晴らしい。特に、スマートフォンの使い方については子供たちに考えさせられる内容だった。また、保護者にも伝えられたのがよかった。
- ・学習発表で上級生が楽しくやっているのを1年生も楽しそうに観ていて、雰囲気がいなど、多くの感想が出されました。

3 熟議 テーマ「地域学校協働活動について」

○戸頭小中学校区での地域学校協働活動のあり方について

- ・自主的な手伝いができるよう、PTAや地区での協力体制づくりを見直していきたい。
- ・ボランティアを募るといより、自然な交流を求めたい。例えば、下校時に外に出て不審者はいないかと見守る程度でもよい。
- ・戸頭町会でも中学生が、「お祭りの中で何か手伝いたい。」と申し出てもらえれば、防災を含め、連携をお互いにとっていきたい。

教育長からは、「取手市内では、中学生がどんどん外に出ている。地域運動会を手伝ったり、公民館で小学生に夏休みの宿題を手伝ったりしている。この多様性の時代、中学生には多様な人と関わる機会を大切にし、多様な経験につなげたり、その人の生き方を見せたりしてほしい。」とお話がありました。



寺原小学校

(10月23日開催)

1 学校評価委員：委嘱状交付

校長より評価委員の方々に委嘱状が交付されました。

2 議事

(1) 学校評価アンケート結果をもとに、「てらはらっこ」を学校・保護者・地域で育むために、したいこと・すること

- ① 7月に実施した学校評価アンケート結果についての説明
- ② 教職員の協議から主な課題点と主な対応策の説明
- ③ 「てらはらっこ」を学校・保護者・地域で育むためにしたいこと・することを話し合いました。

ア 家庭学習・自主学習について

- ・タブレットは便利であるものの、やはり人と人との関わりが大切であり、タブレットだけに頼るのはどうか。
- ・家庭学習と自主学習の明確化は重要であり、子供たちがあまりよく理解できていなかったという経験から、分かりやすく教えるべき。家庭学習の定着・自主学習への意欲をを向上させるため、特に低学年ではハードルを下げ、「興味のあること」(工作、絵、ピアノなど)を週に1回から始め、努力の可視化を図るのが有効ではないか。

イ 学校生活に関すること

- ・あいさつは、大人が「言い続けなければいけない」ものであり、子供があいさつを返してくれなくても、大人が続けていくことで身に付くのではないか。

(2) 「寺原小 100周年記念」に向けて

- ・「てらはらっこちゃん」のプロフィールが完成、子供たちが100周年に関われるような企画を学校で検討中である等、進捗状況・今後の取り組みについて確認しました。

